

< 15-06 >
2015年3月

先生各位

検査内容変更及び受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび下記検査項目におきまして、検査内容の変更及び検査の受託中止をさせていただきますのでご案内申し上げます。

何卒ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■検査内容変更項目および変更日:

2015年3月30日(月)受付分より

項目コード	項目名
1408	クロナゼパム
1409	ニトラゼパム
2239	テイコプラニン
2478	アルベカシン
1131	抗TSHレセプター抗体定量
1022	サイログロブリン

2015年4月1日(水)受付分より

項目コード	項目名
1011	オキシトシン
1025	カルシトニン
1099	総エストロジェン・非妊婦
1105	エストリオール(E ₃)
2321	(1→3)-β-Dグルカン

■検査受託中止項目および最終受託日:

2015年 3月31日(火)受付分まで

項目コード	項目名
1255	総鉄結合能(TIBC)/CPBA法
1256	不飽和鉄結合能(UIBC)/CPBA法
1670	ロタウイルス<CF>
1508	レオウイルス<CF>

■容器の変更

容器番号	容器名
93	ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₂ 用容器

2015年4月より順次お届け致します。

※ 変更内容等につきましては、次ページ以降をご覧ください。

以上

■検査内容変更項目

●クロナゼパム

●ニトラゼパム

測定精度向上のため、検査方法を変更させていただきます。

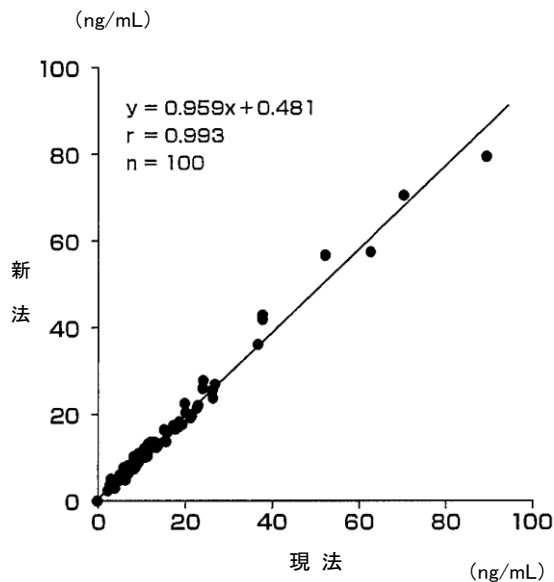
この変更に伴い、検体必要量を変更し、また所要日数を短縮致します。

なお、有効治療濃度等その他の検査内容に変更はございません。

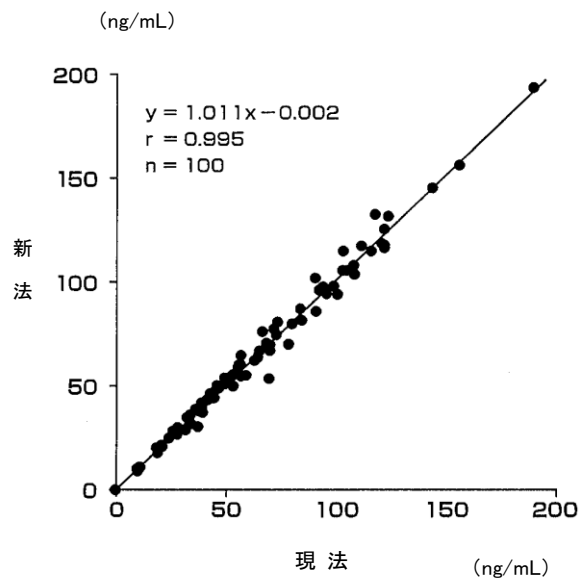
変更箇所	新	現
検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.5mL
検査方法	LC-MS/MS	HPLC
所要日数	3 ~ 4	4 ~ 5

<<新法と現法の比較>>

<クロナゼパム>



<ニトラゼパム>



●テイコプラニン
●アルベカシン

現行試薬(体外診断用医薬品)の添付文書の改訂に伴い、薬剤の治療有効濃度等の表記を変更させていただきます。

検査項目名	新	現
テイコプラニン	有効治療濃度 トラフ値: 10.0~30.0 (単位: μ g/mL)	有効治療濃度 5.0~10.0 (単位: μ g/mL)
アルベカシン	有効治療濃度 ピーク値: 15.0~20.0 トラフ値 : 2.0 未満 (単位: μ g/mL)	有効治療濃度 ピーク値: 9.0~20.0 副作用発現域 トラフ値 : 2.0 以上 (単位: μ g/mL)

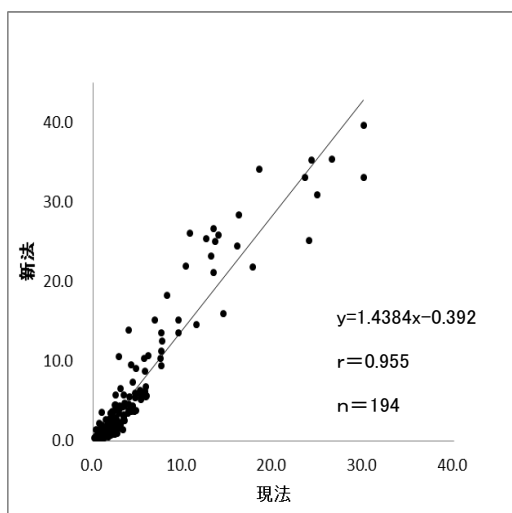
●抗TSHレセプター抗体定量
●サイログロブリン

現行試薬の販売中止に伴い、測定試薬をECLIA法による検査試薬に変更致します。

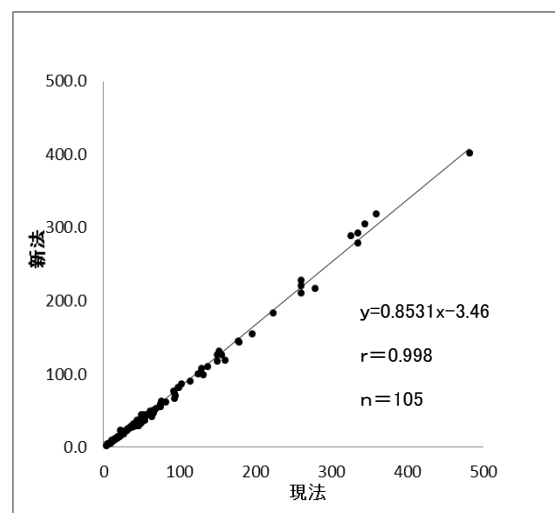
検査項目名	変更箇所	新	現
抗TSHレセプター抗体定量	検査方法	ECLIA法	EIA法
	基準値	2.0 IU/L未満	1.0 IU/L未満
	報告上限値	40.0 IU/L以上	30.0 IU/L以上
	報告下限値	0.3 IU/L未満	0.4 IU/L未満
	所要日数	2~3	3~4
サイログロブリン	検査方法	ECLIA法	ECLIA法
	基準値	33.7 ng/mL 以下	32.7 ng/mL 以下
	報告下限値	0.04 ng/mL	0.1 ng/mL
	報告桁数	小数2位、有効3桁	小数1位、有効3桁

<<新法と現法の比較>>

<抗TSHレセプター抗体>



<サイログロブリン>



●オキシトシン

基準値を適正な表記に変更致します。

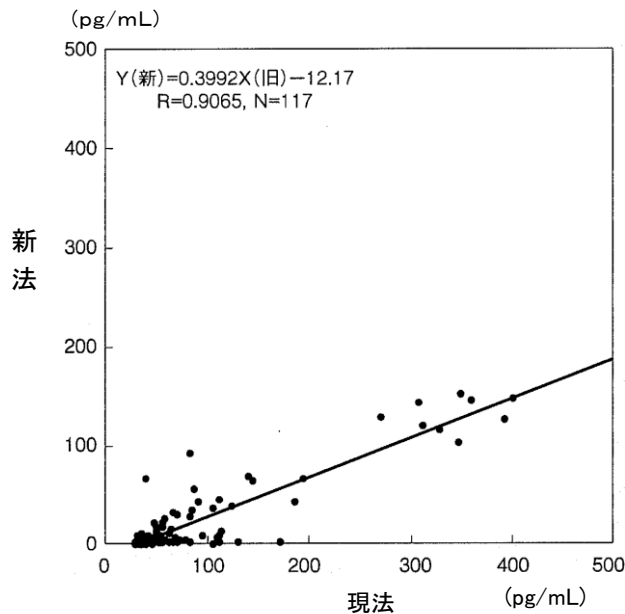
変更箇所	新	現
基準値	非妊婦 5.00 μ U/mL以下	非妊婦 5 μ U/mL以下
	妊婦 3.00~200 μ U/mL	妊婦 3~200 μ U/mL

●カルシトニン

カルシトニン(CT)の測定試薬を世界保健機構(WHO)推奨の国際標準品を使用したECLIA法による検査試薬に変更致します。
また、基準値を文献値に変更致します。

変更箇所	新	現
検査方法	ECLIA	RIA(二抗体法)
基準値	M 5.15 pg/mL以下 F 3.91 pg/mL以下	15~86 pg/mL(空腹時)
報告形態	小数2位、有効3桁	整数、有効3桁
報告下限値	0.50 pg/mL未満	10 pg/mL未満
所要日数	2~3	5~7

<<新法と現法の比較>>



参考文献:北川 亘,他:医学と薬学72:97-108, 2015.

●総エストロゲン・非妊婦

基準値を適正な表記に変更致します。

	新 (μ g / d a y)		現 (μ g / d a y)	
男性	2.00~20.0		2~20	
女性	卵胞期	3.00~20.0	卵胞期	3~20
			卵胞前期	
	排卵期	10.0~60.0	排卵期	10~60
	黄体期	8.00~50.0	黄体期	8~50
	閉経後	10.0以下	閉経後	10以下

●エストリオール(E₃)

基準値を適正な表記に変更致します。

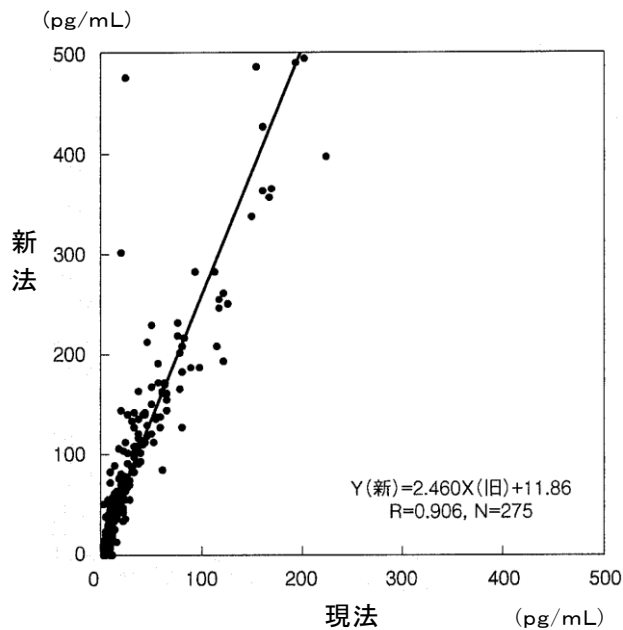
			新 (pg/mL)	現 (pg/mL)
男性			5.00以下	5以下
女性	非妊婦	卵胞期	5.00以下	5以下
		排卵期	5.00以下	5以下
		黄体期	5.00以下	5以下
	妊婦	妊娠前期	20.0～100	20～100
		妊娠中期	100～10,000	100～10,000
		妊娠後期	10,000～40,000	10,000～40,000

●(1→3)-β -Dグルカン

(1→3)-β -Dグルカンの測定試薬を発色合成基質法による検査試薬に変更致します。
本検査に伴い、基準値を試薬添付文書に記載の基準値に変更致します。

変更箇所	新	現
検査方法	発色合成基質法	比濁時間分析法
基準値	20 pg/mL以下	11 pg/mL未満
報告上限値	∞ pg/mL	6000 pg/mL
報告下限値	4 pg/mL未満	6.0 pg/mL未満
報告桁数	整数、有効3桁	整数3桁以上:整数 整数2桁以下:小数

<<新法と現法の比較>>



■検査受託中止項目

- 総鉄結合能(TIBC)/CPBA
- 不飽和鉄結合能(UIBC)/CPBA法

下記項目につきましては受託僅少のため、代替項目へ統一させていただきます。

受託中止項目名	中止理由	代替項目
総鉄結合能(TIBC) /CPBA法	保険上の経過措置 項目で、受託数僅少 のため	総鉄結合能(TIBC) /比色法
不飽和鉄結合能(UIBC) /CPBA法		不飽和鉄結合能(UIBC) /比色法

- ロタウイルス
- レオウイルス

下記項目につきましては測定試薬販売中止のため、検査受託を中止させていただきます。

受託中止項目名	中止理由	関連項目
ロタウイルス/CF	試薬販売中止のため	なし
レオウイルス/CF		なし

■容器の変更

ビタミンB₁,B₂用容器(容器番号:93)を、より強度が高い採血管に変更いたします。

容量	5mLから4mLに変更
保管	常温 有効期間1.5年
添加剤	EDTA-2Na

[ご注意]採血後は凝固防止のため、よく混和して下さい。

※ 新容器は2015年4月より順次お届け致します。
現検査容器につきましても、有効期限までご使用可能です。